

6月の米CPIは予想以上。利上げ、景気後退に警戒

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

積極利上げを支援する内容

6月の米CPIは前年同期比+9.1%の上昇。1981年11月以来となる上昇率であった。市場コンセンサスであった+8.8%を上回るものであったが、今回の内容からの判断は

・次回のFOMCにおけるFFレートの引き上げは0.75%、あるいは1%もあり得る

・来年の米国の景気後退リスクが上昇

米国の金利は今回のCPIの発表に敏感に反応し、米2年国債利回りはインフレ抑制のためのFFレートの上昇を織り込み、前日比+0.108%と上昇、一方で米10年国債利回りは利上げによる景気減速を織り込み▼0.039%の下落となった。引け後の利回りは米2年債利回りが3.149%、10年債利回りが2.935%となっており、逆イールド(短期債利回り&長期債利回りの逆転)が拡大した。

一方で平均賃金は下落

6月の米CPIは5月比で+1.3%の上昇。一方で、米労働者の1時間当たりの平均賃金は+0.3%の上昇であったので、実質的に平均賃金は▼1.0%の減少となった。賃金の伸びが停滞するなかで物価だけが上昇するシナリオが急速に台頭してきた。このため、景気を減速させても利上げによって足元のインフレを退治する重要性はより高まっている。

FFレート4%でドル円は140円台も

現在の米国の政策金利は1.5~1.75%だが、足元のインフレと高値で推移している原油価格を考えると政策金利のピークは4%まで引き上げられる可能性がある。その場合、ドル円は1ドル140円台も視野に入ることになる。

東京市場マーケットデータ

2022/7/13 現在

日経平均	2万6478円
プライム売買代金	2兆665億円
プライム時価総額	679兆9134億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

国内株式売買代金ランキング

2022/7/13 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	▼1.0%
2 ソフトバンクグループ	2.3%
3 東京エレクトロン	1.3%
4 東京電力HD	5.2%
5 トヨタ	0.8%
6 キーエンス	1.4%
7 ファーストリテイリング	1.0%
8 ソニーグループ	▼0.1%
9 任天堂	0.9%
10 三菱UFJFG	0.3%

出所: Quick、アイザワ証券作成

日経平均と予想PERの推移



金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

